

# 事 案 一 覧 表

申請種別：乗合バスの上限運賃変更

令和 5年 7月 20日  
自動車局旅客課

諮問いたしたい事案  
西日本鉄道株式会社（北九州ブロック）

# 目 次

上限運賃変更を申請した乗合バス事業者の申請内容 . . .	1
西日本鉄道株式会社（北九州ブロック）	
申請事業者の概要 . . . . .	2
上限運賃改定申請の概要 . . . . .	3
参考資料 . . . . .	4

# 上限運賃変更を申請した乗合バス事業者の申請内容

事業者名	西日本鉄道㈱		
前々回改定実施年月日	平成26年4月1日		
前々回平均値上率	2.84%		
前回改定実施年月日	令和元年10月1日		
前回平均値上率	1.85%		
現行上限運賃と改定運賃の比較	現行上限運賃	申請上限運賃	
特殊区間制	福岡市内1区	190円	220円
	福岡市内2区	240円	280円
対キロ区間制	キロあたり賃率	33円70銭	42円50銭
	初乗り運賃	170円	220円
平均改定率	19.88%		
申請年月日	令和5年6月15日		
実施予定日	令和6年1月		

# 北九州ブロック

## 西日本鉄道株式会社

### (1)申請事業者の概要(2021年度)

代表者名	資本金 (百万円)	株 主 (%)	事業収入ウエイト及び経常収支率				
			事業別	規 模	収入ウエイト	収支率	
代表取締役社長  はやしだ こういち 林 田 浩 一	26,157百万円	1. 日本マスタートラスト信託 銀行株式会社(信託口)	9.27	一般路線 (申請地域)	1,397 両	13.1 %	90.3 % 〔 90.9 % 〕
		2. 株式会社福岡銀行	4.91	一般路線 (申請地域外)	4 両	0.0 %	60.9 %
		3. 日本生命保険相互会社	4.24	限定 高速	12 両 202 両	0.1 % 2.0 %	97.9 % 68.2 %
		4. 株式会社西日本シティ銀行	3.81	貸切 特定	34 両 7 両	0.3 % 0.2 %	158.2 % 91.5 %
		5. 株式会社日本カストディ 銀行(信託口)	3.50	そ の 他		84.3 %	105.6 %
		6. 株式会社みずほ銀行	2.70	〔	鉄道事業	9.2 %	95.8 %
		7. 明治安田生命保険相互会社	2.39		賃貸事業	9.6 %	132.9 %
		8. 第一生命保険株式会社	1.90		住宅事業	23.7 %	104.8 %
		9. JP MORGAN CHASE BANK 385781	1.28		国際物流事業	36.7 %	105.1 %
					ホテル事業	4.3 %	58.6 %
			ICカード事業	0.1 %	35.6 %		
			その他事業	0.5 %	626.7 %		
		10. STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505025	1.26	全 事 業		100.0 %	102.4 % 〔 102.4 % 〕
			※ ( )内は補助金込み収支率 規模及び総従業員数は年度末の値				

※ 一般路線運送収入 20,899,265 千円  
 総従業員数 4,600 名  
 配当額 1,974,873 千円

## (2) 上限運賃改定申請の概要

西日本鉄道株式会社

項目	現行運賃	申請運賃
普通旅客運賃 改定申請内容	<p>特殊区間制 福岡市内 1区190円 2区240円</p> <p>対キロ区間制 2キロメートル まで 基準賃率の 2倍 2キロメートルを越え10キロメートルまで 基準賃率の 1.0倍 10キロメートルを越え20キロメートルまで 基準賃率の 0.9倍 20キロメートルを越え30キロメートルまで 基準賃率の 0.8倍 30キロメートルを越えるもの 基準賃率の 0.7倍</p> <p>最低運賃 170円</p> <p>最低運賃から1,000円までは、10円単位とし1,000円を越える運賃については50円単位とする。</p>	<p>特殊区間制 福岡市内 1区220円 2区280円</p> <p>対キロ区間制 2キロメートル まで 基準賃率の 2倍 2キロメートルを越え10キロメートルまで 基準賃率の 1.0倍 10キロメートルを越え20キロメートルまで 基準賃率の 0.9倍 20キロメートルを越え30キロメートルまで 基準賃率の 0.8倍 30キロメートルを越えるもの 基準賃率の 0.7倍</p> <p>最低運賃 220円</p> <p>最低運賃から1,000円までは、10円単位とし1,000円を越える運賃については50円単位とする。</p>
平均値上率	<p>(前回改定) 1.85 % (前々回改定) 2.84 %</p>	19.88 %
備考	<p>前回改定年月日 令和元年10月1日 前々回改定年月日 平成26年4月1日 (備考)いづれも消費税率引上げに伴う転嫁改定</p>	<p>申請年月日 令和5年6月15日</p>

※ 現行定期運賃(1ヶ月)の計算方法 通勤:普通旅客運賃(基準運賃額)×30日×2回×月数×[1-割引率(2割5分)]

通学:普通旅客運賃(基準運賃額)×30日×2回×月数×[1-割引率(4割)]

※ 改定定期運賃(1ヶ月)の計算方法 通勤:同上・変更なし

通学:同上・変更なし

# 西日本鉄道株式会社の上限運賃改定に係る参考資料

## I. 一般事項

### 1. 今回の運賃改定の申請に係る地元の反響

申請日の6月15日(木)午後に社長定例記者会見で申請内容を発表するとともに、弊社HPにて公表した。これにより6社が当日のテレビ番組にて、4紙が翌朝の朝刊紙面にて申請内容を報道した。なお、本申請に関するお客さまからのお問い合わせは、実施時期や、ご利用区間の実施予定運賃についてがほとんどである。

### 2. 住民の運賃改定に関する負担感等について

#### (1) 主要区間での鉄軌道との比較(現行、改定後)

主要区間	鉄道		当社バス運賃	
	事業者	運賃	現行 (対鉄道比)	改定後 (対鉄道比)
天神～博多駅	福岡市地下鉄	210円	150円 (0.71倍)	150円 (0.71倍)
天神～県庁前	福岡市地下鉄	210円	190円 (0.90倍)	210円 (1.0倍)
天神～西新	福岡市地下鉄	260円	240円 (0.92倍)	260円 (1.0倍)
天神～香椎	福岡市地下鉄 210円【博多駅乗換】 JR九州 230円	440円	380円 (0.86倍)	430円 (0.97倍)

#### (2) エリア内各事業者の概要【別紙2参照】

## Ⅱ. 会社の状況

### 1. 経営方針としての乗合バス事業の位置づけについて

弊社の基本理念は、「『出逢いをつくり、期待をはこぶ』事業を通して、お客さまに“あんしん”と“かいてき”と“ときめき”を提供しつづけ、地域とともに歩み、ともに発展する』であり、運輸事業、賃貸事業、住宅事業、国際物流事業、ホテル事業、ICカード事業等の事業を通じて、その実現を目指している。特に、「安全あんしん」の追求は、当社の根幹にある理念であり、西鉄ブランドの源泉となっている。

一般乗合旅客自動車運送事業(以下、乗合バス事業)の事業区域は福岡市を中心としたエリアであり、全事業に占める収入の割合は約13%である。地域住民の日常生活や通勤・通学になくてはならない大切な交通手段として、輸送サービスを提供している。

しかし、コロナ禍後の行動様式の変化により急減した輸送人員の回復傾向が頭打ちになっていることに加え、運転者の待遇改善や車両更新、カーボンニュートラルへの対応等、必要経費の増加が見込まれるなど、非常に厳しい事業環境にある。

このような状況下で、今後も継続して地域に公共交通サービスを提供していくためには、乗合バス事業の収支改善が喫緊の課題になっている。

## 2. 今回の改定を契機とした合理化策について

弊社では、輸送の安全を最優先に掲げ、さまざまな施策の実施による収入確保や、アイドリングストップによる燃料費の節減をはじめとする徹底的な経費削減を図りながら、1998年来約25年間、運賃を変更することなくバス事業を継続してきた。

今後も、生活様式の変化に対応した運行ダイヤの効率化や、ICT 技術を活用した業務効率化など、経営合理化に資する取り組みを進めていく。



### 3. 乗客サービスの充実、バリアフリー対策等快適なバス利用促進のための施策について

#### (1) 割引率の高い魅力ある商品の販売・ICT技術を活用したさまざまなサービスの提供

- 1999.7 100円バス運行開始(2021.7～ 150円に改定)
- 2000.8 「乗り継ぎ割引制度」導入
- 2000.9 高齢者向け乗り放題定期券「グランドパス65」販売開始
- 2003.3 学生向け乗り放題定期券「エコルカード」販売開始
- 2004.10 バスロケーションシステム「にしていつバスナビ」導入
- 2004.11 時間帯限定乗り放題定期券「ひるパス」販売開始
- 2008.5 交通系ICカード「nimoca」導入
- 2013.12 「にしていつバスナビアプリ」配信開始
- 2016.6 「福岡市内1日フリー乗車券」販売開始
- 2018.11 マルチモーダルモビリティサービス「my route」推進
- 2019.4 AI活用型オンデマンドバス「のるーと」導入
- 2021.12 「こども50円バス」実施



【にしていつバスナビアプリ】



今後も、MaaSの取り組みとして、他社とも連携しながらサービスの向上を図るとともに、持続可能な公共交通ネットワークを構築していく。また、高齢者向けのサービス向上施策を検討していく。

## (2) バリアフリー・環境に配慮した車両の導入



ハイブリッドバス (2009.9導入)



連節バス (2016.8導入)



尿素SCRシステム搭載バス  
(2005.11導入)



ノンステップバス  
(2004.12導入)



レトロフィット電気バス  
(2022.6導入)

今後も、カーボンニュートラルに向けたEVバスの導入推進を図ることで、社会的課題の解決に向けて対応していく。

## 4. 安全対策の基本方針について

(1) 次の安全に関する基本方針等を策定し掲げている。

### 【輸送の安全に関する基本的な方針】

- ①安全を何より最優先する組織・風土の構築
- ②安全マネジメント体制の確立と継続的改善
- ③安全を支える従業員の能力向上と健康の確保
- ④お客様の安全を第一に考えた商品・サービスの提供
- ⑤お客様との安全に関するコミュニケーションの推進
- ⑥基本方針に基づく施策の確実な実施と法令の遵守

### 【輸送の安全に関する重点施策】

- ①安全体質の底上げ
- ②事業所の特性に基づいた管理者による継続的な指導・教育・改善確認
- ③完全輸送運動の積極的展開
- ④乗務員の健康に起因する事故の防止

## (2) 具体的取組み(2022年度)

### ■安全体質の底上げ

#### ① 確実な確認 ⇒ 正しい判断 ⇒ 基本通りの操作の遵守

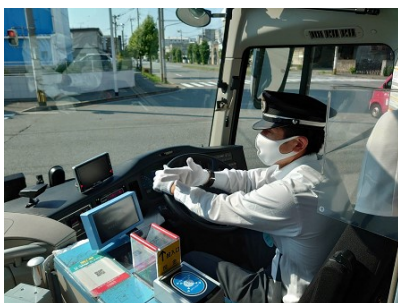
- ・交差点右左折時の一旦停車、指差を用いての「探し出す」確認の実行

#### ② 遅延による先急ぎの心理を抑える、3秒ルール(高速道路は4秒)の徹底

- ・ドライブレコーダーを活用し「基本操作、安全確認、車間距離の保持ができて  
いるか」を確認・指導

#### ③ 災害への平時の備えおよびルールに基づいた対応の遵守

- ・各事業所にてハザードマップを作成・掲示
- ・異常があればすぐに停車して連絡を入れるよう運行指示
- ・異常気象時は安全な場所へバスを退避
- ・名古屋高速バス横転炎上事故を受け、非常口脱出訓練を実施



【指差を用いた安全確認】



【通信型ドライブレコーダー】



【非常口脱出訓練】



## ■事業所の特性に基づいた管理者による継続的な指導・教育・改善確認

### ①事故分析結果を活かした指導・教育

- ・事故等のドライブレコーダー映像を各事業所へ提供し、指導・教育への活用
- ・安全フォローアップ者(事故惹起者・接遇不良者)への継続的指導・教育
- ・車両転動事故防止の取組みとして、構内路面への標示およびサイドブレーキに黄色いシールを貼り注意喚起を実施
- ・バス折り返し場に整理員を配置

### ②個人特性に着目した指導・教育・点呼・コミュニケーションの促進

- ・適性診断結果を活用した継続的な指導・教育
- ・モニターを活用し、状況がわかりやすい点呼の実施

### ③運行管理者の力量向上の推進

- ・運行管理者力量向上計画表の作成および計画の実施
- ・過去の重大有責事故現場を訪れ、次の世代への継承と、風化させないための指導・教育を実践



【構内路面の標示】



【モニターを活用したわかりやすい点呼】

## ■完全輸送運動の積極的展開

### ①事業所毎にテーマを設定した、グループ討議の実施

- ・外部講師による幹事研修を実施
- ・ドライブレコーダーの映像を活用した事故討議
- ・ご意見箱(要望や進言等の投書)の推進
- ・車両美化担当者制度の推進

### ②ヒヤリハット・事故の芽情報の収集・共有化・活用

- ・ヒヤリハットマップの作成
- ・安全情報共有ポータルへの活用

### ③改善提案の推進

### ④乗務員の働きがいと誇りを醸成する取組み

【まんがポスター作成】



【乗務員のイラストを活用したポスター】

## ■乗務員の健康に起因する事故の防止

### ①運行中に発症した際の安全確保についての指導・教育

### ②乗務前確認事項を活用した点呼時の健康状態および前日の睡眠状況の確認

### ③平時の疾病(リスク)の把握、管理

### ④43才に達した高速バスの乗務員を対象に脳MRI/MRA検査を実施

### (3)輸送の安全に関して実施した教育及び研修(2022年度)

#### ■バス研修センターでの教育および研修

- ①新人運転士研修や高速・貸切・連節バス運転士研修
- ②適性診断及び運行前の車両点検・車両特性・車内動揺体験
- ③事故惹起者研修・フォローアップ特別研修
- ④指導員同士での実感訓練ならびに指導要領の討議を行う勉強会
- ⑤営業所の常会における、バス研修センターの指導員を派遣した実感訓練

#### ■営業所での教育および指導

- ・ドライブレコーダー映像を活用したチェック・街頭指導  
および事故の討議、個人の運転特性に応じた指導
- ・「飲酒運転撲滅運動・3S運動(slow・stop・smooth)・携帯電話  
取り扱い確認」強調の日を制定し、継続した指導を実践。



【ドライブレコーダーを活用した指導・教育】

### 5. 過去3年間における自動車事故報告規則第2条に基づく重大事故件数

	2020年度	2021年度	2022年度
事故件数	2件	0件	0件

## Ⅲ. 地方路線維持の状況

### 1. 赤字路線に対する対策、関係自治体との協働、連携の状況について

#### (1) 広報啓発

2017年～

- ・「誰もが気軽に外出しやすいまち」を目指し、  
福岡市と共同で「ベンチプロジェクト」を推進

2021年～

- ・「myroute」を活用し、交通事業者・商業施設の特典を掛けあわせた連携チケットを発売 【バス停ベンチ】
- ・外出機会の創出と将来のバスユーザー獲得を目指し、「こども50円バス」を実施



#### (2) 関係機関と連携したイベント事業の実施(2022年度)

・7月20日～9月20日

がんばれ！福岡の公共交通 ふくおかのりもの展

(主催:福岡県交通政策課、福岡よかもんひろば)

- ・10月16日 にしてつ電車まつり(主催:西日本鉄道)
- ・11月 6日 地下鉄フェスタ(主催:福岡市地下鉄)





## 2. 地方自治体が行っている助成内容と自治体との協調について

・路線の休廃止状況、地方自治体による支援状況

### (1) 路線休廃止(直近3カ年分)

	路線名	廃止系統	廃止区間キロ
2020年4月1日	福島	「八女営業所～諏訪野町・市役所・JR久留米駅」他6系統	16.26km
2020年4月1日	南ヶ丘	「月の浦営業所～南ヶ丘四ツ角～下大利駅」他3系統	11.83km
2020年9月28日	金武	無し	0.07km
2020年10月1日	津屋崎～新宮	「津屋崎橋～西鉄新宮駅前」他3系統	4.95km
2020年10月1日	筑豊(特急)福岡	「西鉄後藤寺営業所～烏尾トンネル・卸商団地～西鉄天神高速バスターミナル」他6系統	6.94km
2021年3月13日	赤間(急行)福岡	「道の駅むなかた～都市高速～天神」他5系統	12.06km
2022年3月19日	脇山	「陽光台～都市高速～博多駅」	0.41km
2022年10月1日	脇山支線	「曲淵～早良営業所」	4.36km
2022年10月1日	那珂川フィーダー	「天神山～都市高速～天神」他1系統	0.99km

※休止区間は無し

(2)国庫補助路線(直近3カ年分)

無し

(3)地方自治体による支援状況

◎不採算路線に対する欠損補助

	2020年度	2021年度	2022年度
金額	101,937千円	123,521千円	105,704千円

# 別紙

